

令和元年十月投句

移り来て縁側で見る虫送

一叢の花に飽くなき秋の蝶

扇風機の残る拝殿菊日和

勝利

恋愛は下手で夜長のシューベルト

由紀子

引越して空部屋の窓秋の声

秋潮の退いて砂鉄のひかる浜

古城址の堀の草揺れ秋の声

秋晴に病院三つはしごして

光子

お休み

節子

駄々こねる夫なだめつつりんごむく

姉の味噌手作りなりし茸汁

葱の種土産に旅の秋暮れて

真理子

斎田を誇りの村や虫送